

# 荒川水系（埼玉ブロック）流域治水プロジェクト【中間とりまとめ案】

資料3-①

～我が国の社会経済活動の中核を担う東京都及び埼玉県を守る抜本的な治水対策の推進～

8月26日版

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、荒川においても、事前防災対策を進める必要がある。そのため、以下の取り組みを実施することで、戦後最大の昭和22年9月のカスリーン台風と同規模の洪水を資産の集中する首都圏中枢部において安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



国管理区間



## ■河川における対策 (※国・埼玉県管理区間)

国 : 堤防整備、河道掘削、洪水調節施設整備 等  
埼玉県: 河道掘削、堤防整備、調節池整備 等

## ■流域における対策 (※国管理区間の沿川自治体)

- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・校庭貯留、浸透ます・浸透管、各戸貯留
- ・宅地かさ上げ 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

## ■ソフト対策(避難・水防等に関する対策)

(※国管理区間の沿川自治体)

- ・危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置
- ・他機関・民間施設を含めた避難場所の確保
- ・広域避難計画の策定
- ・講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、荒川においても、事前防災対策を進める必要がある。そのため、以下の取り組みを実施することで、戦後最大の昭和22年9月のカスリーン台風と同規模の洪水を資産の集中する首都圏中枢部において安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



位置図

## ■河川における対策（※国管理区間）

国：堤防整備、河道掘削、洪水調節施設整備 等

※灰色の旗揚げ箇所は、関東地方整備局ウェブサイト内の「流域治水プロジェクト」に掲載されている「荒川水系流域治水プロジェクト【素案】」に記載の、河川における対策のうち、荒川水系（東京ブロック）における対策。

## ■流域における対策（※国管理区間の沿川自治体）

- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・校庭貯留、浸透ます・浸透管、各戸貯留
- ・宅地かさ上げ 等

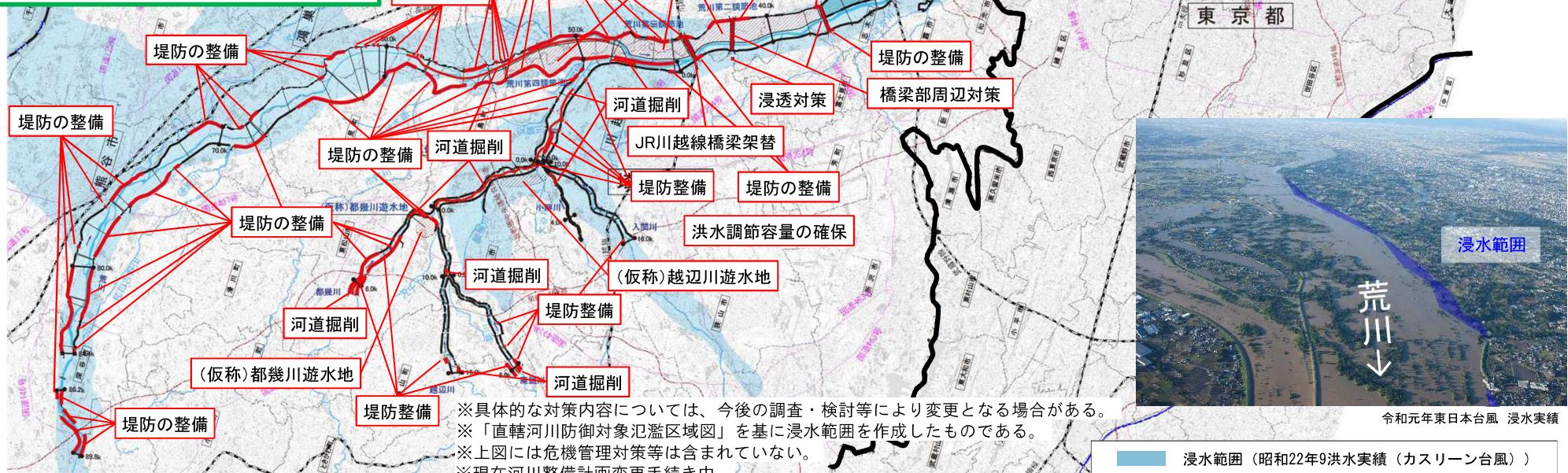
※今後、関係機関と連携し対策検討

## ■ソフト対策（避難・水防等に関する対策）

（※国管理区間の沿川自治体）

- ・危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置
- ・他機関・民間施設を含めた避難場所の確保
- ・広域避難計画の策定
- ・講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 等

※今後、関係機関と連携し対策検討



○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、荒川においても、事前防災対策を進める必要がある。そのため、以下の取り組みを実施することで、戦後最大の昭和22年9月のカスリーン台風と同規模の洪水を資産の集中する首都圏中枢部において安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

